



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和5年3月10日発行 第12号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

33名が母校を巣立つ。

去る3月6日、第76回卒業証書授与式を挙行し、33名の卒業生が当校を巣立って参りました。コロナ禍の3年は我慢が多い分、当たり前のあるありがたみも実感できたのではないのでしょうか。

式辞 卒業おめでとうございます。（中略）私から3つお願いがあります。

【「互いの個性」を大切に】

「個性」とは隠そうとしても滲み出てくるものです。自分では当たり前と思っているけど、他の人には不思議に思えるものです。だから、人との関わりの中で見つけ出すことができます。だから、互いの個性を大切にしてください。【「故郷のよさ」を見つめ直して】

私は出勤の道中、赤信号で車を止める度に、川東地区の景色に見入ってしまいます。帰宅時にはきれいな夕焼けに何度も心を奪われました。美しいものを見て育った皆さんは心が磨かれたばかりでなく、自然の豊かさやありがたみを十分実感したことでしょう。川東地区のよさを深く知り、ぜひ守り続けてください。

【「周囲には味方がたくさんいる」ことを忘れないで】

身近には皆さんの味方がたくさんいます。家族や我々教職員、地域の方も見守っています。健やかに育つ姿を見て、喜んでいます。これからの活躍を真剣に願い、応援してくれています。このことを忘れず、心のよりどころとしてください。

最後に、これから紹介する二人に感謝をしてください。

「あなたのために多くの時間を割いてくれたのは誰ですか。」

「見えないところで、あなたを支えてくれたのは誰ですか。」



©ニヤン画家ヒヨ

送 辞（在校生代表）

皆さんはどんなときも私たちの憧れで、目標とする存在でした。（中略）皆さんとお別れをすることは辛く、名残惜しいですが、皆さんのさらなるご活躍をお祈りします。

答 辞（卒業生代表）

充実した毎日が送れたのは、共に励まし合い、共に笑った仲間がいたからです。（中略）支えてくださったすべての方に感謝し、自分の進むべき道を信じ、未来に夢と希望を抱き、歩き始めることを誓います。

※ 五泉市長田邊正幸様からご臨席の上、ご祝辞をいただきました。

SNSとの付き合い方

GIGAスクール構想により配置されたタブレット端末の持ち帰りを始めました。校内でも校外でも効果的な活用を期待しています。ICTは便利な反面、危険性もはらんでいます。ただ、これからの時代を考えればいかに適切に付き合うか、が求められます。

先日、新潟市児童相談所こども相談課小野郁夫様を講師をお招きして「SNSとの付き合い方」教室を開催しました。生徒たちの学びを紹介します。

■わかったこと■

「自分が操作していると思っていたけれど、本当は私たちが操作されている。」

「(SNSに) 1度アップしたら**完全な消去は難しい。**」

「ひとつの投稿情報で**危ないことに巻き込まれてしまう**（可能性がある）。」

「私たちの年代がSNSをしていると、**依存症になりやすい。**」

「若い人たちは1時間に27回、1日で150~190回スマホをチェックしている。」

■感じたこと■

「今日の話を思い出しながら、自分の身は自分で守ろうと思った。」

「帰ったらネットのアカウントを確認して、危ないことをしていないかチェックしたい。」

「『SNSや（ネット）ゲームは世界中が未だに練習中』という言葉が一番心に残った。」

「ネットの世界よりも友達や家族だけで十分と思った。安全に過ごせるよう工夫したい。」

「発信する内容やメッセージに気をつけていきたい。」

「強い意志を持って、時間を決めてSNSを利用しようと思った。」

「(ネットではなく) 想像力を生かすことに夢中になりたい。」

「世の中のSNSの怖さを実感して、他人事ではないと考えさせられた。」

守ってくれる人は、周りにたくさんいる。

私が講演の中で一番印象に残った言葉を紹介します。

「ネットで出会う人は正体不明。守ってくれる人は周りにたくさんいる。」

ネットは中学生ばかりでなく、我々大人もうまく付き合うことが難しいツールです。でも、避けては通れない時代です。子どもたちと話し合いながら、うまく付き合っていくためのものです。同時に、子どもたちを守れる存在であり続けたいものです。困ったときは、身近な大人にいつでも相談してください。

1年間ありがとうございました。

これからも学校の情報を伝えて参ります。
今後ともよろしくお願いいたします。

